

今年（R3年度）のインフルエンザワクチン接種について Ver.1

R3/9/24 院長

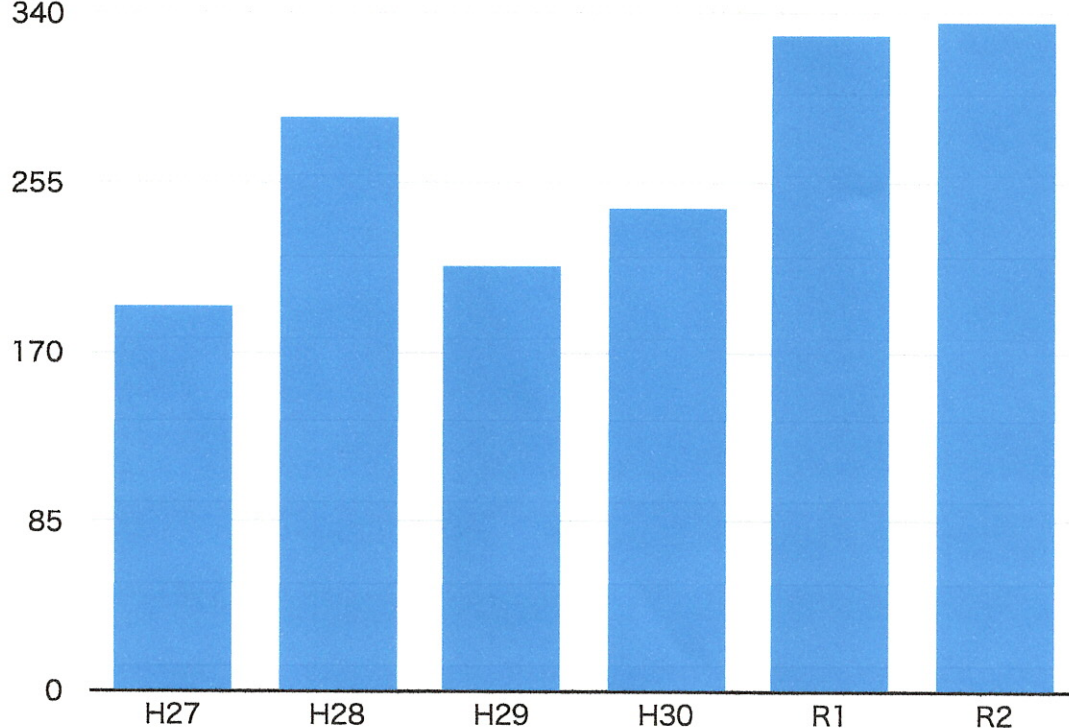
★今年のワクチン供給の見通し

2シーズン続けてインフルエンザの流行がほぼなかったことより、今年のワクチン生産量は例年と比べ2割減と報道されています。残念ながら例年ある厚労省からの公式の発表は未だありません。ワクチンの卸業者からは昨年の半分くらい量と覚悟して下さいと言われています。

★開院以降の当院へのワクチン供給量

毎年厚労省より各医療機関へのワクチン供給量は「前年度を大幅に超えない量」での供給が求められています。当然新規開業のクリニックはゼロからのスタートですので下図の様に、当院では開業以来非常に微々たる量しか増えていません。現在、当院へは延年間1万人以上の方が通院されています。昨年のワクチン供給量は336人分ですから、**当院通院患者のたった3%の人数分しか供給されていない**のが現実です。

(人分) 340



★昨年の状況

上記の通り、非常に供給量が限られており、定期接種対象の65歳以上の当院定期通院患者さん全ての分すらありませんでした。

★今年の方針

今年は9/24時点で約250人分しか供給されない可能性があるため、本当に心苦しいのですが以下の条件を満たす方のみ予約をお取りします。

- ①当院定期通院（少なくとも1年以内に通院歴あり）している70歳以上の方
- ②当院定期通院（少なくとも1年以内に通院歴あり）している65歳以上で70歳未満の方で経口ステロイドや免疫抑制剤内服中の方。
- ③当院定期通院（少なくとも1年以内に通院歴あり）している方で在宅酸素を導入している方。

★今年のインフルエンザワクチン接種の考え方

今年は新型コロナワクチン接種が済んでいる方にとっては下記の理由により、感染のリスクの高い人以外のほとんどの場合インフルエンザワクチン接種は必ずしも必要ないと考えています。我々医療従事者も今年は接種は任意とする予定です。

（根拠）

- ①南半球では今シーズンもインフルエンザの流行は全くなかった。
- ②コロナ対策（マスク着用やフィジカルディスタンス、手洗いなど）そのものがインフルエンザ対策にもなる。
- ③インフルエンザは迅速診断も可能であり、治療薬もあり殆どの人にとって重症化はしない。（コロナと比べるとリスクの高い人にとってのみ注意が必要な疾患である）

★予約受付

下記の要項で電話受付を開始します。完全予約制です。

開始時期：10/1（金）より

受付時間：8:30~17:00（土曜日は12:00まで）

接種期間：11/1（月）～なくなり次第終了

★院長からのお願い

コロナワクチンの予約の時は恐ろしいほどの電話がかかり、日常診療に多大な影響が出ました。上記のワクチン接種該当者に当たらない方は、お問い合わせの電話をどうかおかけにならないように切にお願いいたします。予約が取れないことで職員に心ない発言をする方が少なからずおり、院長含め職員全員心を痛めております。今年は本当に限られた方にしか接種できない状況です。上記内容をお読みいただき、どうかご理解のほどお願いいたします。ワクチンの公正かつ適正な流通に関しては開院以来の私の願いです。今後も出来るだけ多くの方にワクチンを届けられるように職員一同努力していきますので皆様もどうかご協力お願いいたします。